

平成 31 年駒ヶ根市教育委員会第 5 回定例会 会議録

1. 告示年月日 平成 31 年 4 月 12 日 (金曜日)
2. 開催年月日 平成 31 年 4 月 22 日 (月曜日)
3. 開催場所 駒ヶ根市役所 保健センター 2 階 大会議室
4. 開会時刻 午後 2 時 00 分
5. 閉会時刻 午後 2 時 54 分

6. 議題

○審議案件

- (1) 駒ヶ根市就園・就学支援委員会委員の任命について
- (2) 学校運営協議会委員の任命について (追加)
- (3) 駒ヶ根市社会教育委員の委嘱について
- (4) 駒ヶ根市公民館運営審議会委員の委嘱について

○協議事項

- (1) 総合教育会議について

○報告事項

- (1) 4 月 1 日現在児童数について
- (2) 信州駒ヶ根ハーフマラソンについて
- (3) 第 45 回こどもまつりについて
- (4) 行事共催等承認申請の専決処分について

○その他

- (1) 小中学校運動会への委員出席分担について
- (2) 第 6 回キャリア教育産学官交流会について
- (3) 南部市町村教育委員会連絡協議会の日程について
- (4) 上伊那市町村教育委員会連絡協議会の日程について

7. 出席者

教 育 長	本 多 俊 夫
教育長職務代理者	下 島 公 平
委 員	福 澤 惣 一
委 員	唐 澤 浩
委 員	氣賀澤 知 保

○委員以外で会議に出席した者

北澤教育次長、北原子ども課長、入谷社会教育課長、小原学校教育係長、吉澤教育総務係

○傍聴者：0 人 (うち報道機関 0 人)

8 会議の顛末

1) 開会宣言 本多教育長（午後2時00分）

○本多教育長 早速進めたいわけですが、都合で報告事項の「(1) 特別非常勤講師の任用について」を最初にやらせていただきたいと思います。

6) 報告事項

(1) 特別非常勤講師の任用について

○小原学校教育係長から、特別非常勤講師の任用について報告がされた。

〈説明の要旨〉

資料の31ページをお開きいただきたいと思います。

市の3つの給食センターには、3名の栄養士の先生が配置されております。赤穂南学校給食センターと竜東学校給食センターの先生は栄養教員ですが、赤穂学校給食センターの太田先生は栄養職員のため、授業等を行う際に制限がかかるということになっております。そういった中で、例年、特別非常勤講師の発令を市の方でさせていただいているものでございます。

「教授または実習させようとする事項」でありますけれども、小学校の生活科、総合的な学習の時間、中学校の総合的な学習の時間、特別活動の機会を通じて児童生徒の食に関する知識、関心を深め、子どもと家庭の食生活向上に資するための指導を学校栄養職員が単独でできるようにするためという理由でございます。

赤穂給食センターですので、赤穂小学校と赤穂中学校で勤務をしていただくようお願いするもので、昨年同様4月1日の辞令をさせていただくということでございます。以上、よろしくお願ひしたいと思います。

〈質疑・意見等なし〉

2) 教育長報告

○本多教育長より、教育長報告資料により報告等がされた。

〈説明の要旨〉

歳を取って朝早く目が覚めるようになりまして、4時半から5時の間にどうしても目が覚めてしまうようになりました。必ずカーテンを開けて駒ヶ岳の方を見るんですが、本当に山がきれいに見えるようになってきました。

ちまたを見ますと、花が一気に咲いてしまったというような、普通は順番があつて、桜が咲いて、その次に何々が咲いてとなるんですが、もう色とりどりの花が咲いています。考えると、その期間が短いのかなあなんていうことを思いながらですけれども、気持ちのいい日を過ごしています。

また一年間お世話になりますけれども、よろしくお願ひします。

始めに南信教育事務所関係が総入れ替えになりましたので、ざっと説明をさせていただきます。

南信教育事務所所長は堀内光雄さんになりました。学校教育課長は、主幹であった有賀稔さんがそのまま上がったということでございます。上伊那の主幹、今度学校を回ってもらう主幹主事ですけれども、新任の河手正彦さんでございます。

続いて、上伊那校長会長は高遠中の小林久通先生、南部の校長会の会長が小澤徳夫先生、宮田小の校長です。市内は、東中の宮澤賢司校長先生、南部の教職員会の会長が宮田中の竹村勝先生でございます。上伊那教育会の会長は林先生でございます。

市内の校長会の関係の課題分担ですが、一番左側に委員会名がありまして、それに該当する先生方等をそこに一覧にしております。後でまたお目通しいただければと思いますが、こんなふうに校長会、教頭会の方で決めていただきましたので、よろしく願いいたします。

1枚めくっていただきまして、教育長報告です。「吾、常に此において切なり」という言葉、4月1日から何回か口に出しておりますが、教員に話をしました。どんなときであっても、どこにしようとも、その場で、そのことに心を込めて切実に勤めるという意味です。教育委員の皆さんにも、教員と同様に、このような気持ちで臨んでいただければ大変ありがたいなあと思います。

続きまして、市町村教育委員会関係の報告でございます。役員の選任と総会についてというのが主な議題でございました。変わったところだけ申し上げます。

四角で囲ってある左側の四角の一番下の会計幹事、ここにおいでの下島委員さんが前の北原委員さんから引き続きで幹事をやっていたいておりました。任期が満了ということで、今度は南箕輪村の清水道直さんをお願いすることになりました。

もう1人、右側の四角の一番下、事務局ですけれども、補佐 竹澤尚子さんです。今期から交代ということでございます。

次に総会についてです。市町村教育委員会の総会が、本年度は中川村の文化センターで7月2日に開かれるということです。日程等をご覧いただいて、今からご都合をつけていただきたいと思っております。

2ページの方でございますが、教育委員さんたちには「釈迦に説法」でございますけれども、学校関係には古きに学ぶということで話をしております。一村一品運動は大分県が発祥ということでもありますけれども、元大分県知事の平松守彦という方が「地方からの発想」という本を出しております。人間と風土の関わりの中で文化は生まれるんだと、風土は人間をつくり、人間が歴史をつくるという、まさにそのとおりだなと思いつつ読みました。大分県では、三浦梅園、広瀬淡窓、そして野上彌生子、福澤諭吉、田能村竹田、滝廉太郎、福田平八郎等々、双葉山も含め、多くの有名人が出ています。そこには三浦梅園のところを、1つだけ載せました。

普通の人たちは、地震があると、何で地震が起こったのかなと思うんだけど、三浦梅園は常になぜという疑問を発していたので、どうして毎日地震が起こらないんだろうという、そういう発想で見えていたということです。言われてみればなるほどと思うんですけども、ニュートンのリンゴと同じ発想なんですね。

先ほど申し上げたような大分県の先哲に共通した生き方が3つあるということです。1つのことに徹してチャレンジする頑固さと、世界や未来に向けた進取の気性を持っているのと、柔軟な発想と姿勢を持っている、これが今名前を挙げた全員に共通することだそうであります。地方にいてもグローバルに考え、ローカルに行動する、「グローバル」という造語がよく聞かれますけれども、それに徹しているのが大分出身の先哲、先輩たちであるということです。大分でなくても、駒ヶ根市でもとても大事なことなのかなあと、やっぱり子どもたちの将来を鑑みて駒ヶ根市がどうあるべきかということを実践したものにするために、この姿勢は共通なんじゃないかなあと思っています。特に、徹してチャレンジする頑固さというのは、意外と長野県人にはちょっと少ないの

ではないかなと私個人的に思っています。何かあると、うまく世渡りできるんだけれども、いいと思ったことを徹底的に曲げないでいくというのが、私も含めて、もう少しなければいけないんじゃないかなあと思います。長野県人が悪いというのではなくて、あまり周りを気にしないでいいから、いいと思うことに突き進まなければいけないなあと、そんな思いで、ちょっと書かせていただきました。

最後でありますけれども、前にもお話しましたが、遺伝子の権威の村上和雄さんが最新鋭のコンピューターに「どんな人間が最後に生き残るか」と入力したら、答えが「譲る心を持った人」と打ち出したというんです。なるほどなあと、コンピューターって便利で利用させてもらっていますけれども、コンピューターをあまり信用していない私が、ここだけはちょっとうなずきました。

右側の3ページのところは、この間4月3日にスポーツ少年団の発会式がありまして、私が感じたのを、ちょこっとした怒りも含めて書いてしまいましたので、気持ちだけ感じていただければと思います。子どものことではございませんで、大人のこれでいいのかということを書いてございますので、また目を通していただければと思います。

3) 事業報告及び事業計画

○北澤教育次長より、事業報告及び事業計画資料について説明がされた。

〈質疑・意見等なし〉

4) 審議案件

(1) 駒ヶ根市就園・就学支援委員会委員の任命について

○小原学校教育係長から、駒ヶ根市就園・就学支援委員会委員の任命について説明がされた。

〈説明の要旨〉

10ページをお開きください。

こちらは、児童生徒、特に発達特性を持つお子さん、あるいは障がいを持つお子さんの就園、就学につきまして検討する委員会になります。

駒ヶ根市附属機関に関する条例第2条の規定に基づく教育委員会の諮問機関ということになっております。任期2年で、今回改選になります。

委員はご覧いただいている表のとおりでございますが、表の中でゴシックになっている6名の方を新任でお願いさせていただきました。

まず、一番上の昭和伊南総合病院の鈴木敏洋先生ですが、今までは伊那市の滝小児科医院の滝先生をお願いをしておりました。このたび、つくし園の発育発達相談医が鈴木先生に交代となるということの中で、それとともにこちらの委員も鈴木先生に交代していただくというものでございます。

次に、赤穂小学校と中沢小学校につきましては、新しく転任された高嶋校長と酒井校長にそれぞれ任命をさせていただきます。

その下の園長の関係ですが、中沢保育園と赤穂南幼稚園の園長が新たになりましたので、上久保園長と小原園長にそれぞれ任命をさせていただきます。

11ページをご覧いただきまして、子ども課の保健師でございますが、人事異動により宮下志

保が後任となりましたので、そちらを任命させていただきます。

ただいまご紹介させていただき方以外は再任ということでございまして、以上33名となりますが、平成31年4月1日から33年3月31日までということで、よろしくお願いします。

〈質疑・意見等なし〉

○本多教育長が諮り承認

(2) 学校運営協議会委員の任命について

○小原学校教育係長から、駒ヶ根市立赤穂小学校学校運営協議会委員の任命について説明がされた。

〈説明の要旨〉

こちらは、駒ヶ根市学校運営協議会規則第7条の規定に基づいて赤穂小学校の学校運営協議会委員を任命するものでございます。

他の4小学校につきましては3月の第4回定例教育委員会で既にご審議いただいておりますので、赤穂小学校のみご覧いただきたいと思っております。

こちらの協議会につきましては、19名の皆さままで構成されておまして、うち15名が地域の皆さま、4名が学校の先生方です。

こちらの任命が31年4月1日ということで、任期は1年となっております。

〈質疑・意見等なし〉

○本多教育長が諮り承認

(3) 駒ヶ根市社会教育委員の委嘱について

○入谷社会教育課長から、駒ヶ根市社会教育委員の委嘱について説明がされた。

〈説明の要旨〉

では、資料の13ページをご覧ください。

駒ヶ根市の社会教育委員につきましては、社会教育法の規定、また駒ヶ根市社会教育委員条例の規定によりまして委嘱をされております。

平成30年から32年3月までの2年の任期になるわけですが、今回6名の委員のうちお1方、市内校長会の方から選任をいただきます校長会代表が替わられたことに伴いまして、宮澤賢司先生を新たに加え、来年の3月31日までの1年間について委嘱をさせていただきたいというものでございます。

〈質疑・意見等なし〉

○本多教育長が諮り承認

(4) 駒ヶ根市公民館運営審議会委員の委嘱について

○入谷社会教育課長から、駒ヶ根市公民館運営審議会委員の委嘱について説明がされた。

〈説明の要旨〉

続きまして、資料の14ページ15ページをお開きください。

駒ヶ根市内に赤穂公民館、中沢公民館、東伊那公民館と3つの公民館がございまして、それぞれに条例の規定で運営審議会の委員を置くという形になっております。赤穂公民館で15名、中

沢、東伊那、ともに10名の委員さんを委嘱させていただいているところでございます。

幅広いご意見をいただくということで選任させていただいた方々なんですが、ちょうどこの4月で任期の2年が終わりましたので、本年の4月1日から2年後の平成33年3月31日までの任期で、そこにあります皆さまを委嘱したいということでございます。

なお、参考までに、16ページ以降、各公民館の名簿が同じように重複されて載っているんですが、欄外左側に丸表示のある方は今回新たに委任をさせていただきます新任の委員さんになっております。

〈質疑・意見等なし〉

○本多教育長が諮り承認

5) 協議事項

(1) 総合教育会議について

○北澤教育次長から、総合教育会議について説明がされた。

〈説明の要旨〉

総合教育会議ですが、事業計画にもありましたように4月26日金曜日の3時から本庁2階の大会議室で予定しています。

第1回目については、毎年当初予算のを中心にということであります。19ページから30ページに市の全体の予算について載せてあります。2月の定例教委でも出ておりますので、重なる部分もありますけれども、確認をしたいと思います。

平成31年度(2019年度)の当初予算については、交流と支え合いで創る地域共生推進予算ということであります。

1が予算規模でありますので、ご確認ください。

2の一般会計の当初予算ですが、歳入については、財源の不足として基金を9,000万円取り崩します。

歳出については、地域交流センター(赤穂公民館)等の整備、また駅前広場の整備、中割経塚線などが主なものであります。また、7つ目の丸に学校ICT整備、パソコン教室のパソコンの更新や大型提示装置の配置です。その下に、保育園へのエアコン設置、その右側に30年度の補正で繰り越したものが7億8,000万円余ということで、市内小中学校へのエアコン整備で5億9,000万円ほど載っております。各小中学校、足場の関係でネットを張って今整備を進めているところで、6月中の検査で、7月から使えるようなことで進めております。

続いて、その下が産後ケアの事業の実施で、母乳チケットの充実、産婦健診の実施等があります。下から2つ目ですが、地域定着奨学生支援事業ということで、駒ヶ根市に戻ってこられて就職を新たにされた方で、奨学金を利用された場合の支援ということでございます。

3については、財政の健全化ということでご確認をいただければと思います。

20ページをご覧ください。主な新期事業、拡充事業であります。

重点プロジェクトは、新規で地域定着奨学生支援制度が新規、以下、青年海外協力協会、JOC Aの関係、東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業、あとJICAとの連携ということです。

3段目のところに子育て、教育がありますので、ご確認ください。

20ページの下から2段目の生涯学習・文化・スポーツの部分については、先ほど言いました地域交流センター、また継続でエル・システム事業が載せてあります。

以下、主要事業で21ページから30ページまでありますが、24ページに子ども課の部分の記載があります。また、29ページに生涯学習・文化・スポーツ等の社会教育の関係がありますので、後刻お目通しをいただければと思います。

<質疑・意見等なし>

6) 報告事項

(2) 4月1日現在の児童生徒数について

○小原学校教育係長から、4月1日現在の児童生徒数について報告がされた。

<説明の要旨>

32ページをご覧ください。

平成31年度4月1日現在の市内小中学校クラス別児童生徒数でございます。

まず小学校でございますが、今年入学された児童の皆さんは285名であります。昨年度は272名でしたので、昨年よりはプラス13名、一昨年は259名でしたので、このところ毎年10名以上ずつ増えているということになります。ただし、全体的に見ますと、一番右下のところになりますが、小学校全体の児童数が1,741名であり、昨年度の同時期に比べてマイナス15名となっておりますので、総体的には減少となっております。この中には特別支援学級の児童も入っておりますので、そのようにお読みいただければと思います。

次に中学校ですが、中学1年生は306名ということで、こちらは昨年に比べましてプラス34名です。全体の人数は、右下のところ913名ということでありますが、こちらは昨年度よりも41名減少しております。

クラス数でございますが、小学校では昨年度に比べまして赤穂小学校で1クラス増え、東小学校で1クラス減っておりますので、プラマイゼロということになってございます。

中学校のクラス数ですが、昨年度に比べ赤穂中学校の1年生が1クラス減りましたので、全体で1減となっております。

<質疑・意見等なし>

(3) 信州駒ヶ根ハーフマラソンについて

○入谷社会教育課長から、信州駒ヶ根ハーフマラソンについて報告がされた。

<説明の要旨>

本年度も第7回になります信州駒ヶ根ハーフマラソンを実施させていただく予定でございます。

毎年、9月の最終週の日曜日ということになっておりまして、本年度は9月の29日日曜日です。コース、メイン会場等は例年と変わりません。種目につきましても例年どおりハーフマラソンと5kmの部、3kmの部という3つの種目で開催する予定でありまして、昨年同様4,000名ほどの参加を希望しているところでございます。

参加の申し込みにつきましては、例年どおり市民枠ということで市内にお住まいの方を先に応募を受け付け、その後、一般の受け付けに入ります。市民枠の受け付けは5月13日から1週間、金曜日の17日までです。その後、一般の方が5月20日以降から定員に達し次第、締め切りま

で受け付けをさせていただきます。

信州駒ヶ根ハーフマラソンは、地域の皆さま、また学校の皆さま、さまざまな皆さまのご協力をいただく中で、RUNNETの中でも好評をいただいております。昨年も全国ハーフマラソンの部で2位の評価をいただいています。今年度も引き続き同じような形態で、皆さまのご協力をいただきながら実施をさせていただく計画をしておりますので、よろしくお願いいたします。

金額につきましては、例年どおり、ハーフマラソン参加の皆さんは5,000円、5kmで3,000円、3kmは小学生になるんですが500円という金額です。一般的に見ますと、ハーフマラソンは8,000円～5,000円くらいの範囲でやっていて、フルマラソンになってくると、大体1万円前後が標準になってくるようでございます。できるだけ参加しやすく、また参加いただいた方が気持ちよくお帰りいただけるような大会を目指して、金額につきましても例年どおりの金額の中で運営させていただきたいと計画をしているところでございます。

〈質疑・意見等の概要〉

○下島教育長職務代理者から、最近ハーフマラソンが各地区で盛んに行われているが、日が近くてバッティングし始めているなどの傾向はないかとの質問がされた。

○これについて入谷社会教育課長から、当市は9月の最終週の日曜日ということで動かさないんですが、例えば他市町村の大会は、何かの事情によって前後に異動するということもあり、場合によってはバッティングすることも避けられないかと思えます。ただ、好評を得て皆さまに興味を持っていただいていますので、9月の最終週の日曜日という日を固定し、早目に周知することによって、他の大会に流れる人を前もって確保できればというふうに考えておりますとの回答がされた。

(4) 第45回こどもまつりについて

○北澤教育次長から、第45回こどもまつりについて報告がされた。

〈説明の要旨〉

33ページ34ページですが、こちらは学校、保育園等に配ったチラシの写しでございます。

今度の土曜日、27日、会場は駒ヶ根総合文化センターの周辺におきまして第45回こどもまつりを開催するべく準備を進めております。

中身につきましては、裏面のところに会場図、それから参加団体、広場のフォーメーションがございまして、①～⑬ということで、多くの団体の協力を得まして開催をします。

今、地域交流センターの工事中で立ち入り禁止の部分がございまして、そういった部分に注意しながら開催します。

また、日程につきましては、例年ですと先日の日曜日が開催の日になっていたかと思いますが、選挙の関係で1週後ろにずらしております。

〈質疑・意見等なし〉

(5) 行事共催等承認申請の専決処分について

○吉澤教育総務係から、行事共催等承認申請の専決処分について報告がされた。

〈説明の要旨〉

今回16件の申請がありまして、全て後援の申請となっております。

全て専決にて承認をさせていただきました。よろしくお願いいたします。

〈質疑・意見等の概要〉

○唐澤委員 5番目の親守詩ですけれども、一昨年、小木曾前教育長が自分では決めかねるといふことで、この会へ持ってこられて、2回なり続けて話しました。実行委員会が特定の価値観を持った団体といふことで、そのときは一応条件付きで、授業では扱わないとか、教室まで持っていかないといふことにしました。やっぱり学校の中へそういうものが入っていくといふことは、少しは私たちも気にしていた方がいいのかなあとは思っています。

○吉澤教育総務係 書類が出てきたところで、教育長からも他の市町村の状況を確認しておけといふことで、特に会場の飯田市のほうへ確認をしました。昨年度の大会で参加者に対して勧誘するような行為があったといふことで、今年はちょっと飯田市の方でも承認を今考えていると、最初そういう報告がありました。その後、飯田市の市長部局が主催者と話をし、そういった勧誘行為をしないといふことを条件に承認するといふことにしたそうですので、うちもそういったことがあると承認は出せませんといふことでお話をさせていただきました。条件を付けた上で承認させていただいております。

○北澤教育次長 基本的には、学校関係は入らないような形でといふことで、承認はいた仕方がないかなと思っておりますけど、そういった行為があったといふことはいかがかといふことがありましたので、飯田市さんの方でそういう形で確認をして、うちも同じ条件でといふことでここに載っておりますので、よろしくお願いいたします。

○唐澤委員 先生たちも、やっぱりそういう価値観の先生もいるとは思いますが、余り偏っている考え方も、逆にシングルの親とかLGBTとか夫婦別姓とか、そういう歌になったらどうやって評価されるかといふのも気になります。

○本多教育長 昨年の例が挙げられておりましたので、今後、そのようなことを約束しながらも何か続くようであれば、じゃあもう後援できないなといふようなことは出ておりますので、今年は、お願いしたいと思っております。

7) その他

(1) 小中学校運動会への委員出席分担について

○小原学校教育係長から、小中学校運動会への委員出席分担について説明がされた。

〈説明の要旨〉

平成31年度運動会委員出席分担表の案でございます。

例年に倣いまして、表の下にございます分担の根拠というところを参考にしながら割り振りをさせていただいております。

それと、今回内部で協議をさせていただきました。例年、赤穂中学校に2名出席していただいていたところを教育長1名とさせていただきます。

それぞれ割り振りをさせていただきましたので、ご覧いただきまして、こちらでよろしいかご確認をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

〈質疑・意見等の概要〉

○下島教育長職務代理者 今日、実はお願いをしようと思ってきたんだけど、5月31日と泊まりで関東甲信越のほうへ出席をさせていただきますので、6月1日、中沢小学校、申しわけな

いが、誰か今回に限り代役でお願いしたいんですけど。

○唐澤委員 私が代わるということでいいですか。

○下島教育長職務代理者 教育長が行ってくれば一番いいけど…。

○本多教育長 私によければ。その日は、たまたま空いております。では、私本多が行きます。

お願いします。予備日等もごさいますが、そうなったときにも、そこら辺もあけていただければありがたいなあと思いますが、よろしくお願いたします。

(2) 第6回キャリア教育産学官交流会について

○小原学校教育係長から、第6回キャリア教育産学官交流会について説明がされた。

<説明の要旨>

37ページをご覧くださいと思います。

5月21日火曜日の13時30分から、宮田村民会館で行われるものでございます。

例年、主催は郷土愛プロジェクトということで、KOAの向山さんが会長として行っています。

第5回目は昨年、飯島町で行われたんですが、300名ほど参加があったということで、盛大に行われたようです。主な参加者は、上伊那地域の産業界、それから学校の先生、教育機関の関係者など、多様な皆さまにご出席をいただいたということで聞いております。

今年のテーマは「つながり つなげて 育てよう 地域の宝」ということで、1部の交流会、2部の意見交換会が行われます。

まず1部の交流会、基調提案①でございますが、小学校、中学校、それぞれのテーマで提案発表を行うようです。基調提案②ですが、みんながつながる宮田村を目指してということで、ミヤダボンドプロジェクトの皆さんが事例と活動報告をされるということでございます。これを受けまして、その後ワークショップを行うという内容になっております。

これは、産学官の枠組みを超えて協働して次世代の人材育成だとか地域づくりを推進していくという目的を持って行われますので、ぜひ委員の皆様にもご都合がつけばご出席いただきたいということでございます。

(3) 南部市町村教育委員会連絡協議会の日程について

○吉澤教育総務係から、南部市町村教育委員会連絡協議会の日程について説明がされた。

<説明の要旨>

代議員会が6月下旬に飯島町、それから、総会の方は委員の皆さんにご出席いただきまして7月の下旬に中川村となっております。詳しい日程が決まり次第、ご連絡をさせていただきたいと思っております。

8) 閉会宣言 本多教育長 (午後2時54分)